

質問と回答（8月19日～21日事前指導での質問事項について）

（1号消火栓、2号消火栓共通事項）

	質問	回答
1	活動中に、停止線を超えないようにするとの注意事項がありましたが、停止線を越えてはいけないのは、足の部分のみですか。	足の部分のみでなく、その他の部分（初期消火中の消火器のホースを保持する腕の部分、屋内消火栓による放水中のノズル及び腕の部分）についても停止線を超えないように活動してください。
2	消火器と懐中電灯の位置に指定はありますか。	消火器は仮想防災センターの机の周囲の任意の位置（机の脚に接する程度の距離）、懐中電灯は仮想防災センターの机上の任意の位置に置いてください。
3	初期消火実施時は、消火器を置いて実施して良いですか？動画のように左右に動く必要はありますか？	初期消火実施時には、消火器を持って様々な角度から燃焼物体に放水し、効果的な消火が行えるように活動してください

（1号消火栓）

	質問	回答
1	ホースの収納時に、消火栓ボックス内のすべてのツメにホースを掛けなければなりませんか。	すべてのツメにホースを掛けなくても良いです。事業所の方が持ちやすい長さにホースを折って収納してください。
2	ホース延長後、指揮者が到着する前に放水（標的を倒す）を実施しても良いですか？	ホースを延長して放水はじめの合図を送った後は、指揮者の到着を待たずに消火標的に向かって放水し、左右の標的を倒してください。 両方の消火標的が倒れた後は、係員により屋内消火栓ボックスへ送水する水をシャットする場合がありますが、その際も放水姿勢は継続し、ノズルは開放したままで指揮者の到着を待ってください。 指揮者は到着時に両方の消火標的が倒れていても、注水姿勢及び流量の確認は必ず行ってください。

(2号消火栓)

	質問	回答
1	屋内消火栓による消火の際に、消火栓ボックスの扉を開放した後、バルブ開放とノズル取出しの順序に指定はありますか。	消火栓ボックスの扉開放の後は、 <u>ノズル取出し→バルブ開放</u> の順で実施してください。 先にバルブを開放すると、ボックス内でホースが膨張しホース及びノズルの取出しに支障が生じ、機器損傷につながるためです。 → <u>本質疑を受け、2号消火栓の活動概要を修正しました。</u>
2	審査開始前の準備の際に、屋内消火栓ボックスの扉を開けて内部のホース及びノズルの収納状況を確認・修正しても良いですか。	よろしいです。ただし確認等が終わりましたら、ノズルはボックス内の収納用金具にセットしてください。
3	ホース延長時のノズルの持ち方に指定はありますか。ノズル部分を片手で持って延長しても良いですか。	延長時のノズルの持ち方に指定はありませんが、器具愛護等の観点から動画のとおり両手で持つことが望ましいです。